

2月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年2月20日(木) 午前9時30分から午前11時15分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階・301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之
委員 川上美子
委員 平田良枝
委員 中岡政剛
教育長 久芳昭文
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、教育部理事後藤正弘、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事羽田野崇、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長占部晃、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川慎、文化・スポーツ推進課長磯部輝美、郷土文化交流課長清水比呂之、世界遺産登録推進室長岩佐芳弘、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課企画主査山本幸江、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子
- ※ 傍聴 なし

5 前回(11/26臨時、1/21定例)議事録の承認(資料1)《承認》

【川上委員】 2ページ、20行目「社会教育委員さんの件に関して」のところと24行目「主事さんが復帰された」のところに敬称を付けているので、「さん」を削除してもらってよろしいでしょうか。

【井上委員長】 それでは、2箇所の削除をお願いいたします。その他になければ議事録について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

6 議案

① 議案35号 宗像市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について(資料2) 《承認》

【久芳教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲15秒)

【文化・スポーツ推進課長】 現行の18ページ新旧対照表を見ていただきたいのですが、利用許可の際に使用料を納付しなければならないとなっておりますものを、利用を開始する前までにということで、実態に即した対応に変えさせていただくものです。

【井上委員長】 ご説明がありましたように、実態に合わせて変更するということですが、その他になければ、議案35号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

② 議案36号 宗像市教育21世紀プラン2014(案)について(資料3)

《承認》

【久芳教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲18秒)

【教育部理事】 23ページの資料3になります。まず、全体構想図になっております。25ページ以降が詳細の26年度の21世紀プランの方向、骨子でございます。別紙にこの21世紀プランの今後ということで、これから先の位置付をご説明申し上げたいと思っております。別紙、「宗像市教育振興基本計画」(仮称)策定についての資料をご覧ください。先ほど26年度の21世紀プランについて説明申し上げましたけれども、これは、毎年策定をしているものでございまして、5年、10年をかけた骨太のプランが、これまでございませんでした。ところが、子育て支援計画、市民活動推進プランにつきましては、10年プランがあります。これまでも学びの里づくりというくくりで位置づけていましたが、この計画の期間の違いや、他のプランとの連携も重要になってきますので、これからは、「教育振興基本計画」なるものを立てて、21世紀プランと置き換えていきたいと考えています。他の計画とあわせ、27年度に計画をスタートさせますので、来年度は、暫定プランとなってきます。10年を見据えた「教育振興基本計画」の策定に入っていきたいと考えています。他のプランとの連携を密にしながら、基本計画を策定していくという立場になっていきます。策定までの流れですが、本年度末から意見交換会をさせていただいていますが、その部分と、来年度にはその骨子の策定、そして、計画を策定し、12月をめぐりに意見聴取、あるいは、パブリックコメントを踏まえながら、これを策定していきたいと考えています。併せて、小中一貫教育の基本方針の確定もありますので、その流れも資料として添えております。これも一緒になって策定方向に進んでいきますので、この2つが大きく流れとして、来年度あることを本日ご説明申し上げました。その他議事録なし。(▲13分41秒)

【井上委員長】 今回は、教育部理事から説明がありましたように、今までは毎年、教育21世紀プランをここで確認をして進めてきましたけれども、平成27年から教育振興基本計画の10年間のプランを策定するということです。そのためには、今回提出されている21世紀プランについては、それを加味し暫定的に提出されているということです。計画策定までの流れも、小中一貫教育の部分と関連づけて、大変な時期が来年度、26年度ではないかと思えます。どこからでも結構ですが何かお気付きの点、ご意見を出していただけたらと思えますけれども、いかがでしょうか。

【中岡委員】 細かいところですが、25ページのプランの全体構成のところ、1番下の囲みのなかですけれども、「ALT活用」と「施設整備等」との間がスペースになっています。ALT活用に関連がないでないのであれば、「・」となると思います。

【教育部理事】 関連性はないので修正いたします。

【中岡委員】 先程の運営的支援の内容のところ、市費の職員の配置について記載されていますが、23ページの図の学校支援関連事業と、この部分との関係性を聞かせてください。例えば、23ページ、上から2段目の枠組みの「豊かな心の育成に関する事業」に、図書司書の配置について、記載すべきではないでしょうか。同じく、「健やかな体の育成に関する事業」のなかの食育の推進事業の部分に栄養士の配置、「学校経営の充実に関する事業」に、特別支援教育支援員の配置。この配置の部分のところ、細かくここに具体的な内容が出ていますので、そこをお聞かせいただけますか。

【教育部理事】 23ページの構想図の左側は、研修会等ということで、25ページの1番下の各種研修会、連絡会等の開催と連動しています。ご指摘の関連支援事業の実施という項目は、23ページの右側に直結します。人的支援の分につきましては、ここでは、学力向上支援員と学園コーディネーターの学力向上につながるところだけを挙げているのが実際です。特別支援教育支援員や図書司書など人的支援を行っているところは、ご指摘のとおり、しっかり位置付けていく必要があると思いますので、文言を挿入させていただきます。

【平田委員】 23ページのところで、今年度までは、特別支援推進事業ですとか、漁村留学は豊かな心の育成に関する事業に記載されていたと思うのですが、2014年からは、学校経営の充実に関する事業に変わっていますが、これを見たときに、私自身は、支援を要する子どもたちに焦点が当てられて良かったとは感じているのですが、どういった経緯で変更されたのか聞かせてください。

【教育部理事】 ずっとここは、迷っておりました。特別支援教育が「豊かな心」に、位置付いていいのかという部分です。確かに、学力保障も含み、そうなりますと、特別支援教育も確かな学力にも関わってきます。むしろこれは、学校経営全体の課題ではないかと考えました。小中一貫教育の柱としても、非常に重要な課題だと思いますので、この学校経営のDの部分、ここに置くことが大事だろうという発想に変わりました。ですから、「豊かな心」に位置づけるのではなくて、学校全体でという立場から、置き換えたということでございます。

【川上委員】 同じく23ページなのですが、具体的な事業に関する右側の欄で、他部署との連携事業等についての位置付けは加えられていくのでしょうか。例えば、去年であれば、小学4年生の芸術鑑賞事業とか、伝承文化継承事業とかが豊かな心の育成に関する事業に記載がないのですが。

【教育部理事】 決して、切り捨てたわけではございません。

【教育部長】 すべての事業を網羅するのは、紙面の都合により厳しいところがありますので、優先順位を吟味しながら掲載させていただいております。詳細の事業については、事務事業の評価もしますので、そこに漏れなく記載したいと考えております。

【井上委員長】 記載がないと、事業がなくなったのではないかと思いますので、削除するときには、明確な理由付けをお願いします。

【教育部理事】 削るところはきちんと説明をいたします。

【川上委員】 連携事業というのは、子どもの体験活動につながる大切な事業だと思いますので、確かな事業の位置付けをぜひお願いいたします。

【平田委員】 同じく23ページ。豊かな心の育成に関する事業にある、音楽いっぱい学校づくり事業は、耳慣れないと思ったのですが、どういった事業でしょうか。

【教育部長】 来年度の計画は、次の10年間の振興計画を視野に入れております。これは、総合計画のなかで、教育の推進ということで、記載がございますので、ここを視野に入れて、まだ十分ではございませんけれども、来年度事業を取り組んでいこうということで記載しております。細かな記述は、本日の資料のなかにはありませんので、また着手する段階で、改めてご説明をしていきたいと思っております。

【川上委員】 25ページと37ページとは連動する内容だと思うのですが、37ページに

は、それぞれのプロジェクトの中に「授業ツボの提案！」と明記してあるのですが、25ページには学力向上のプロジェクトにだけ「授業のツボの提案」と書かれていますので、整合性が図れればと思います。このツボを提案されるというのは、すごくいいことだと思っていますので、もっとアピールしていいのではと思います。

【教育部理事】 紙面のわかりやすさを重視しましたので、きちんと合わせるようにいたします。

【井上委員長】 本当によくまとめていただきました。特に、最初に教育部理事から話していただいた、この子どもの姿に、私も非常に感動いたしました。単なる施策だけの目標で止まらず、子どもの姿を示し、焦点を絞っていく。宗像の教育は、小中一貫教育を軸にして、いい方向に進んでいるのではないかと考えております。

【平田委員】 27ページの下から4行の、目標の不明確だとか、今の学校の状況が学校訪問をさせていただいたなかで、子どもの姿がここに表れていると思いました。しっかりその姿を見て次にいく、たくましい子どもが育っていくというものがこのなかに表れていて、夢が持て、見える計画ができていると思いました。

【教育部長】 少し補足させていただきます。今日、別紙で説明させていただきましたが、皆さんには、懇談会で話した内容をこのなかに反映しています。25ページ以降のところは、これからまた来年度に教育振興計画を作ってまいりますので、もう一度、議論しながら、あるいは、市民の意見も聞きながら、再構築をして27年度からの10年プランに結びたいと思いますので、ご認識いただければと思います。

【井上委員長】 1回と言わず、何回でもやっていく必要があると思います。機会はまだまだ十分ありますので、まずは、毎年出している21世紀プランの2014は、これでよろしいでしょうか。では、議案第36号について、ご承認いただけますか。

【各委員】 はい。

7 報告事項

① 行政報告（資料4）

【久芳教育長】 それでは、前回の定例教育委員会後の行政報告をさせていただきます。1月は特にございませんけれども、2月にはいろいろな研修機関で、研究発表や研修報告がありますので、そのことに少し触れたいと思います。2月5日は、教育大学附属久留米小学校の研究発表会に行きましたが、本市から本官として行っていただいております村上先生のICTを活用した教育実践発表がございました。これは、国でも力を入れているのだと思うのですが、学校が指定を受け、先進的な取り組みの研究をしているわけです。タブレットを使った取り組みで、これは本市でもとても参考になる内容でございました。それから、2月7日は県の教育センターで長期研修員として、1年間研修をいただいた片山先生が道德教育の研究報告をされております。2月10日は、教育大学附属福岡中学校の研修員であります橋本先生の方あふれる、元気いっぱいの英語の実践授業を見せていただきました。大変たのしくっております。同じ2月10日ですが、宗像区の自主研修会、サークル研究会の合同研究発表がございました。この合同研というのは、毎年行われているのですが、校長会と教頭会の組織的な取り組み

もございまして、最近は、かなりの先生方がそれぞれの研究グループに入り、充実してきているように思っています。特に、これからは世代交代が急速に進んでまいりますので、若手教員の参加が求められるところですが、これには若い人達が入ってきておりますので、大変期待をしているところです。2月14日には、管内教育長会議が開かれております。この会議では、2月6日に臨時教育委員会でご議論いただきました、全国学力状況調査の公開に関する意向調査について、各市町村の話が聞けるのではないかと考えていたのですけれども、実際、詳しい話はありませんでした。ただ、ある教育長からは、今回の調査が非常にわかりにくい調査になっているのではないかとのご意見がありました。特に、「公開」という概念が、各教育委員会の間でかなり開きがあると感じ、意向調査として、どのようにこれを捉えていくかというのは、非常に難しいのではないかとのご意見でした。この件につきましては、教育長会の役員であります、春日市の山本教育長から、県教委と教育長会の役員との間で意見交換の場があるので、そのような意見が出たことも含めて、話をしたいということでした。

② 後援報告（資料5） 議事録なし（▲3秒）

③ 宗像市スポーツ推進計画の進捗状況について（当日配布資料）

【文化・スポーツ推進課長】 スポーツ推進計画につきましては、平成27年度から36年度までの10年間の計画を定めるものでございます。昨年の5月に審議会を立ち上げまして、これまで審議会を3回、そして、部会を3つ設けておりまして、各部会2回から3回会議を開催しております。今日お配りしております資料は来週の資料で、ほぼ概要が固まりつつある状況でございます。今月末と3月末くらいに、あと2回くらいの審議会を経たなかで、答申へつなげていく予定です。今回の教育委員会で意見交換をさせていただき、ご意見を反映させたいと考えております。内容は、4つの基本方針、8つの基本施策、それから、具体的取り組みとなっておりますが、大きく踏み込んでいる項目や、新たな取り組みがあります。スポーツ振興計画では、運動の領域には触れておりませんでした。今回、運動の領域まで含める予定です。従いまして、これまででは、スポーツをずっとやれば、結果として健康になるという考え方だったのが、スポーツ、運動を通して、健康な市民をたくさんつくっていくという健康を結果ではなく目標にしています。また、スポーツ観光の取り組みを進めながら、地域経済の活性化につなげる取り組みや、子どものスポーツ機会の充実についても、学校教育での体育の支援も含めたところで、相当踏み込んだ計画となっていると思います。表紙もスポーツチャレンジとしているのですが、新しい領域というのも非常に多いということで、こういうサブタイトルも入れている計画でございます。

【井上委員長】 私たちも計画の進み具合がわからなかったのですけれども、今のお話をお聞きすると、あと2回くらい審議会を開き、この委員会には次回の定例委員会で意見を出すことができる。この委員会のあとに、答申をするということですね。

【文化・スポーツ推進課長】 答申は、3月末の審議会でまとまれば、そうしたいと考えております。

【井上委員長】 実際には、これは平成27年度からの10年間の計画ですよ。

【文化・スポーツ推進課長】 はい、そうです。

【井上委員長】 そうすると、26年度はまだ期間がありますよね。

【文化・スポーツ継承課】 はい。基本施策の12ページをめくっていただきたいのですが、ここに8番目の項目で、中核拠点となる施設の再構築と整備という項目が1つ設けてありますが、今のこの資料のなかで、その施設整備の関係は、1つも入っておりません。これは、財源の関係があるので、市がある程度の方考え方を示さないと論議もできませんので、今のところはまだ審議会で論議できる状況にはないと判断し、答申としては、場合によっては、その項目に触れないままということもあるのではないかと思います。これは審議会のなかでも、また論議するかと思います。

【井上委員長】 スタートしたのは、去年ですね。まだ、資料を今日いただいたばかりですが、ご意見ご質問など何かございますか。

【文化・スポーツ継承課】 はい、去年5月30日が第1回です。資料を読み込んでいただいたほうがよいと思います。やっと昨日、最終的にまとめ、まだ審議会のなかでも流動的ですので、そういう段階であるのご理解いただければと思います。

【井上委員長】 それでは、来月の定例委員会でもって、議論をさせていただきたいと思えます。何か意見があれば、それを踏まえて、審議会で決定していただくということをお願いします。

④ 宗像市少年少女海外派遣使節団選考委員会設置要領の一部改正について(資料6)

⑤ 宗像市少年少女海外派遣研修事業業務委託審査委員会設置要領の一部改正について(資料7)

【子ども育成課長】 資料6でございます。今回、ニュージーランド研修の団員を選考するための委員会の構成を平成26年4月1日から一部改正いたします。48ページの新旧対照表をご覧ください。選考委員には、中学校長1名に入っておりますが、第3条(組織)第1項中の「、当該年度ニュージーランド交流受入中学校長」となっているところを「、市内中学校長会が推薦する中学校校長」に改めます。改正理由をご説明します。ニュージーランド研修は、宗像市からの派遣とニュージーランド交流校の受け入れを行うことで双方の交流を実施しておりますが、平成23年度から宗像市への来訪は、相手校の事情により中止となっております。その結果、平成22年度の大島中の受け入れが最後となっております。平成23年度交流受入は、日の里中学校として決定しておりましたが、3年間受け入れが実現しておりません。その結果、23年度から25年度におきましては、日の里中学校校長に連続してお願いしている状況です。今後も相手校の実情により、受け入れが実施されるかどうか不明確ですので、今回、市内中学校校長会推薦に変更させていただきます。関連がありますので、次の項も説明させていただきます。

資料7です。ニュージーランド研修事業の委託業務を行う業者を審査するための委員会の構成を平成26年4月1日から一部改正いたします。52ページの新旧対照表をご覧ください。第3条(組織)第1項別紙1の審査委員でございますけれども、まず、「ひつじの会」を明確にするために、「(宗像市少年少女海外派遣研修経験者)」と加筆します。それから、中学校校長1名に入っておりますが、先程、団員の選考委員会設置要領改正でご説明しました理由のとおり、前回受け入れ中学校としておりますので、大島中学校長に連続してお願いしている状況ですので、今回、市内中学校校長会推薦に変更させていただきます。新年度に入りまして、校長会から代表1名を推薦していただきまして、この団員選考、委託業者の審査、当該年度のニュージーランド交流校の受け入れをお願いしたいと考えております。

【井上委員長】 関連ですので併せて報告をしていただきましたけれども、何かご意見ご質問はございますか。4については、説明理由で3年間、相手校の受け入れがなかったものですから、ずっと日の里中学校ということにならざるを得なかったのですよね。そういうことから、この規約を改正したほうが良いということで、市内中学校長会が推薦する中学校長に改めるということですね。それから、「ひつじの会」のところは、具体的に経験者と明記するということですね。今までも、ひつじの会に所属しているということは、当然、研修経験者なのですよね。それでも、あえて追記したほうが良いのですか。こうすれば、かなり丁寧ですね。

【子ども部長】 そうですね。対外的にどんな団体なのかという疑問も多少ありますし、ひつじの会の活動が、実情としては休眠している状況がありますので、選考は、経験者を探してお願いしながら運用しているのが現状です。

【井上委員長】 ひつじの会への加入は、任意なのでしょう。必ず、自動的に加入しているわけではないですね。

【子ども育成課長】 任意です。

【平田委員】 区分のなかに少年少女海外派遣研修経験者とあるのに、ひつじの会にもまたそれを書くというのは、重複して書く必要があるのかと思います。

【子ども育成課長】 ひつじの会自体は、廃止をしているわけではなく、先程、子ども部長が申しましたとおり、活動を休止しているような状況ですので、存在としてはございますが、実質的には、経験者に個別にお願いして選考委員になっていただきますので、あえて経験者というところの説明を入れさせていただいているところです。

【教育部長】 ひつじの会が、まだ市民の方々に十分認識されていないという現実もあります。私もよく補足しておりますので、重複はしますけれども記載しておく必要があるように思います。

【川上委員】 私たちはこの要領を見ているので、重複していると見えるのですが、一般的には、ひつじの会というものだけが出ていますので、それが何かはわからないのが普通だと思うのですよ。だから、ひつじの会と括弧で補足する名前を出すことによって、周知できるのではないのでしょうか。

【井上委員長】 いろいろと意見は出ましたが、これでよろしいですね。

【各委員】 はい。

⑥ 平成25年度宗像市立小中学校卒業式及び平成26年度宗像市立小中学校入学式への出席について（資料8）

【教育政策課長】 資料8参照。

【井上委員長】 卒業式と入学式で、それぞれ委員は自分の配置校を確認してください。事務局では過去の分を調べ、連続して同じところにならないよう、配慮しているそうです。何か、変更ありませんか、よろしいですね。

【各委員】 はい。

⑦ 平成25年度インフルエンザ様疾患の発生に伴う学校（学年・学級）閉鎖状況について（資

料9・当日差し替)

【教育政策課長】 資料は、本日お配りをさせていただいた差し替え分です。最新版2月19日現在をご覧ください。この間、インフルエンザにかかった学級数は、述べ58クラス、インフルエンザにかかった述べ児童生徒数は、現在、575名で、昨年度よりも増えております。まだまだ取り戻そうもない状況ではございます。

⑧ 平成26年度宗像市立学校の児童生徒数・学級数(推計)について(資料10)

【教育政策課長】 資料10、59ページでございます。これは、26年2月1日現在の仮の学級編成に基づきまして、児童生徒の推計が出ましたのでご報告をするものです。25年度の現在の児童生徒数を載せております。25年度から見ますと、全体の児童生徒数につきましては、来年度は21名の減になる予定でございます。クラス数では、2クラスの減。しかし、特別支援学級を見ていただければ、平成25年度から児童生徒数は10名の増になり、学級数でいくと3クラスの増になります。平成26年度からの特別支援学級につきましては、卒業等で3学級が廃級になる予定ですが、26年度は6学級になります。3学級減って、新たに6学級ですから、3学級クラスが増えます。これにつきましては、まだ県の確定が下りていません。近日中に確定の通知が来るかと思っておりますので、まだ、これはあくまでも予定でございます。小学2年生の少人数学級でございますけれども、平成25年度におきましては、3学級、26年度においては増えまして5校になる予定です。赤間小学校、東郷小学校、自由ヶ丘小学校、赤間西学校、自由ヶ丘南学校が35人学級になる予定の学校でございます。

【井上委員長】 これは、あくまでも、まだ予定ということでございますので、また変わる可能性もあります。

⑨ 2月学校の日について(資料11)

【久芳教育長】 2月10日は、出張と重なっておりまして、東郷小学校を見てまいりました。インフルエンザを心配しながら行ったのですが、学級閉鎖はなく、ただ、マスクをした子が多かったです。欠席の子もとても多くて、学級閉鎖の判断をいろいろと迷っているという校長先生のお話でした。いい取り組みだと思いましたが、来年度に向けての学校経営の参考にしたいと、校長先生が、先生方に直接アンケートをお願いしているとのことでもございました。内容は、例えば、修学旅行をどうするのかとか、教育大学院の受け入れについてどう思っているのかといった具体的な内容もありますし、その他には、職員室の雰囲気とか、職員間でのストレスとか、校長の指示について、管理職の連携等々でした。ある意味、教員による管理職への評価を直接聞いていると言うので、なかなか勇気のある取り組みだと思えました。大変工夫されておりましたので少し紹介しておきたいと思えます。それから、学校の日ではないのですが、1月25日に中央中学校で土曜日授業が行われております。これまで東日本大震災で被害を受けた学校との交流をずっとやっており、その縁で宮城県の亘理町立荒浜中学校の渡辺校長先生が、お忙しいなか、わざわざ宗像市を訪れて、防災に関わる講話をさせていただいたということでございます。実際に被災された校長先生の体験ということで、子どもたちも真剣に聞いていましたし、教員や保護者の方々にとっても、とても参考になったのではないかと思います。なかなか良い取り組みをし

ていただいていると思います。土曜日授業をうまく使っていただいて、独自の効果的な授業を展開していただければと思っています。

【川上委員】 私は、赤間小学校と日の里中学校に行かせていただきました。赤間小学校では、学級活動をしているクラスを中心に授業を拝見しました。内容は、なかよし集会等やありがとうの会とか、催しについて何をするか意見を子どもたちがみんな出し合って、司会進行や、書記の子がきちんと役割分担をして、いろんな意見を出し合っていました。1つ着目したのは、黒板にそのときの話し合いのポイントをきちんと書き、話し合い活動をしていたクラスが多く、テーマを脱線することなく、子どもたちも意識を持って、何のための話し合いをしているのかが明確にされ、すごくいいことだと思いました。校長先生のお話のなかで、学級活動は、とても大事にしていらっしゃるということで、「学級経営がうまくいくと学力がもっと上がると私は信じています」というお言葉が大変印象的でした。その後、日の里中学校に行きましたら、この日は、中学校は私立入試の発表の日で、放課後、校長先生から結果を渡される日でもあり、学年末試験の2日前でもありました。全体的に試験のムード一色の状態ですので、子どもたちが神経質になっているのではと思い、少し早めに学校に行って昼休みの様子を見ていましたら、子どもたちは中学生ですけれども鬼ごっこをして、校庭や廊下を走り回っていました。大変微笑ましい無邪気な明るい様子が見られて、挨拶もとても大きな声で気持ちのいい挨拶で、子どもたちの落ち着きと明るさと穏やかさが大変いい状態にあると思いました。授業は、やはり試験前ということで演習中心だったのですが、黒板に、「学習問題を解いて、定期テストは100点をとろう」という目あてが掲げられていて、子どもたちは、真摯に試験の対策に打ち込んでいました。ほかには、T Tで国語の授業がされていたのですが、メインの先生と補助の先生と、どちらも役割分担がはっきりされていて、非常に内容の濃い国語の授業をされていました。校長先生にお聞きしたら、自信を持って、「子どもたちの様子は見なくてもいいくらいですよ。大変、みんな落ち着いています。」とおっしゃっていました。子どもたちの身構えや心構えができ、人の話を聞くのが大変上手になった1例として、集会で黙想をさせた際に、終わりの合図を先生が忘れ、10分間ずっと子どもたちは黙想をし続けていたという話を聞きました。日の里中学校が前の状態に比べて大変良くなったと、本当に実感して帰ってまいりました。

【平田委員】 私は、玄海小中学校と河東中学校に行つてまいりました。玄海中学校では、入口に学校要覧のカラー刷りが置いてあって、とても地域にアピールしていいと思いました。学校に入った瞬間に、空気とか、雰囲気、きりっとした爽やかな感じで、変わったというのを感じましたし、教室を回ると子どもたちは、とても元気で賑やかなのですけれども、表情はいいし、教師と生徒の関係がいいなと感じました。3年生は、進路が決まった生徒とか、まだな生徒とかがいて、少し落ち着きがないということ、先生もおっしゃっていました。また、玄海小学校は、校長先生のお話をうかがいました。午後からは6年生はスピーチ大会とか、2年生も自分発見発表会ですとか、なかよしはパネルシアターとか、それぞれの学年で趣向を凝らした授業がなされているようでした。両校の学校の日ですけれども、授業参観ガイドがとてもよくできていて、「ああ、行ってみたいな」と思ひまして、このへんは素晴らしいと思いました。河東中学校は、教室を回りましたが、真剣に授業に向かっている生徒も多いのですけれども、気になる生徒が、1、2年生は特に目立っていました。教室外に2名の生徒がフラフラと出て行く様子もありまし

た。3年生は、進路に向けて準備はしているのですけれども、進路に乗り遅れた生徒たちに課題があるということをおっしゃっていましたし、インフルエンザで、私立の1次試験が受けられない生徒がいて、2次試験があるのでそちらに向かっているということも聞きまして、そういった葛藤も子どものなかにあるのだと思いました。

【中岡委員】 玄海中学校で校長先生のお話で、3年生が3学期になって、本当に勉強をよく頑張っていると、こんなにやれるのだと思う反面、「もっと早く頑張れよと言いたい」と聞きました。校舎内を見たのですけれども、休み時間、授業中とも、生徒の様子がよく落ち着いていると。また、表情が明るいということを感じました。校舎内も非常に清掃が行き届いてきれいだと思います。保健体育の重富先生の電子黒板を使っただけの授業でしたが、生徒が電子黒板を使っただけの活動をするのですけれども、日常的といいますか、ごく自然な感じで電子黒板を使っただけ、日ごろからしっかりと取り組まれているのではないかと感じたところです。赤間小学校ですが、先程、川上委員も言われておりましたので手短にお話します。どの学級でも本当に子どもたちが、学習に意欲的に取り組んでいるという姿が見られました。特に感じたのは、外部の方がたくさんおられ、ロウソクを灯したなかでのブックトークですとか、読み聞かせがあったり、廊下でお話をされていたりとか、そういうところがたくさんあると思いました。どの活動でも、本当に子どもたちが真剣な眼差しでしっかりと話を聞いている状況でした。日の里中学校ですが、私立高校の合格発表ということで、学校はその発表の準備で大変忙しそうでした。校長先生の話としては、3年生の入試に向かっての真剣な取り組み、態度や行動も含めてですけれども、これが2年生や1年生に、非常にいい刺激になっているのではないかという話が、非常に印象的でした。

【井上委員長】 私は、河東西小学校、玄海東小学校、日の里西小学校の3校を訪問させていただきました。河東西小学校は、高田校長からインフルエンザで学級閉鎖があったというようなこと。今日も3年生の1クラスで欠席者が12名いて、授業がなかなか先に進められないということで、苦勞しているという話がございました。授業を参観したのですけれども、3年以上の学年で合奏の練習を集会に向けて、非常にみんな真剣に頑張っていて取り組んでいたのがなかなか良かったと思いました。玄海東小学校ですけれども、3年生の地域人材を活用する授業で、6名のゲストティーチャーが来られて、5つのグループに別れて、伝統行事について、子どもたちは真剣にこの説明を聞き、また、質問をいろいろとしておりました。子どもたちの意欲というものが感じられて、本当に好印象を受けました。日の里西小学校ですが、木部校長から、教育大学との連携事業で、1月16日、17日に5年生が木育教育を行い、日本の森林と林業とか、木の働きなどのお話とか、九州大学の内海准教授の指導のもとに演習林等の間伐作業の体験など、子どもたちにとっては非常に貴重な体験ができ、大変よかったというお話をお伺いしました。それに関して、新聞社のインタビューなどで、配慮が必要な子が堂々と受け答えをしている様子を見て、校長として大変感動したと話していました。これは、日頃の話し合い活動の成果がじわじわ出てきたのではないかと思います。いろいろとしてきたことが、かたちとして表れてきたというようなそういう雰囲気を私は感じました。

【教育部長】 10日の河東西小学校をご覧ください。午後の5、6時間目だったのですけれども、選挙管理委員会主催による、「選挙のしくみ」ということで6年生の授業があつております。選挙管理委員の皆さんが、総務課の職員と併せて、6年生に直接説明をし、河東西市長選挙

を校長先生と教員2、3名が立候補して、投票まで実践しております。たまたま投票結果は同数になって、事前に得票同数の場合はくじという説明を事前にしていたので、くじ引きをして、校長先生は落選し、他の先生が当選しました。この事業も選挙管理委員会から、来年は、ぜひもう少し積極的にやっていきたいということですので、次回決定しましたら、日程のご紹介をしたいと思います。

⑩ 小中一貫教育について（資料12）

【西島指導主事】 資料12参照。議事録なし。（▲1分16秒）

⑪ 福岡教育大学との連携事業について（資料13）

【精講コーディネーター】 65ページです。先程、委員長から説明がありました、この木育プロジェクトは、日の里西小学校の5年生を対象に、1月16日と17日に行いました。林間学校にして、夏休み中に宿泊でというような案もありましたが、安全面から寒いけれども1月にということでこの日程になりました。16日は日の里西小学校で行って、17日は九州大学農学部付属の演習林で、普段なかなか入れてもらえないところでの貴重な体験となりました。この木育プロジェクトは、全国的に今年度から力を入れている事業です。大学だけでなく、農林中央金庫、電通、県の森林組合連合会、宗像支部の方々なども入っていただいて、たくさんの連携が広がって行きました。教室に運び込まれた大きな丸太を森林組合の方がチェーンソーで切って見せてくださいました。その後、自分たちは、ノコギリで引く体験をさせていただきます。少し細めの丸太になりましたが、子どもたちにとっては本物の丸太を切るという、ノコギリで引くという経験は初めてだったので、大変感動的に行われました。ノコギリというのは、押すときに力を入れるのではなくて、引くときに力を入れるとうまくいくのだよというようなことに、「へー」と言いながら、頑張っ引いておりました。引いたヒノキの木で始めは箸をつくるということだったのですが、校長先生の依頼もあって、子どもたち全員がこの椅子をつくりました。保護者の方からも喜ばれたようです。66ページは、次の日、宗像市のマイクロバスで、演習林に行ってきた様子です。子どもたちが入る前に、切っていい木には赤いリボンを付けていてくれました。当日切ったヒノキを全員が5cmくらいの輪切りを持って帰りました。そして、最後に資料室を見せていただきました。そこには樹齢600年の屋久杉の標本とか、全国から木の標本があり、普段入れない部屋まで見せていただきました。その様子を新聞社の方もたくさんこられ、記事を掲載していただきました。このプロジェクトは大変いい授業で、福岡県がこの授業を実施するのが、日の里西小学校で4校目ということで、これからどんどんやるようです。県の森林組合の方も、宗像支部の方も、大変良くしていただきましたので、来年度にも深めていって、いろいろな学校に広がるのではないかと思います。以上が、木育プロジェクトの報告です。続きまして68ページに、これは共同プロジェクトの特別支援教育の講演会の報告です。平日になかなか出張しにくいという意見もございましたので、授業が終わった後の、5時半からであればどうだろうか、勤務時間外で来たい人が来てくださいということと呼びかけましたら、宗像市、福津市から25名の先生方が自主的に集まってくださりまして、金子春恵先生の話、すべての子どもに合った授業を教師は工夫しなければいけない。1つの授業方法ではなくて、いくつものやり方、工夫を入れた授

業にしていって、いくつもの手立てを持った授業を工夫していくのが、これからは大事なのだ。そうすれば、落ち着きのない子も落ち着くようになる、というような提案でした。教室には、いろいろな子がいると。それは、すべてその子どもたちの特性であって、個性として受け止めて、そういう子どもがわかりやすい授業や手立てを教師が持っていないと、これからは駄目なのだというようなお話で、電子黒板を使ったり、タブレットも使ったり、光を少し少なくしてあげたりとか、そういう子をすくい上げていくと、将来、大人になっても税金をしっかりと払える大人が増え、今のように、すべて特別支援、特別支援で、支援でお金を出していくと日本は破綻するというような話を納富教授からお聞きしながら、そういう研修会になりました。これを受けて、2月14日に東大の近藤先生に来ていただいて、お話をいただいています。その会には、中岡委員、平田委員、川上委員も来てくださっております。それについては、次回にご報告させていただきたいと思っております。最後ですが、来上がったばかりのリーフレットをお配りしています。これは、ICT部会が作り上げたリーフレットです。今回は、デジタルカメラの使い方と、撮った写真の活用について非常に初歩なのですが、まず、ここからだということで、教育大学の古川先生と河東西小学校、玄海中学校の先生方とともに作り上げたもので、第1弾として、全職員に1枚ずつ配らせていただいております。報告が後になりましたけれども、卒業式前に子どもたちに記念のアルバムを作ってあげられるというのは、担任としてとても大事なことであるだろうということで、先に配らせていただいています。また、プロジェクトに関しましては、今、まとめの冊子を大学と一緒に作っております。出来上がりましたら、ご報告をさせていただきます。その他議事録なし。(▲6分31秒)

⑫ その他

・自由ヶ丘地区コミュニティ・センター改修工事に伴う図書館業務の停止について

【図書課長】 市民図書館では、自由ヶ丘地区コミュニティ運営協議会に予約本の貸出業務と返却図書回収受付業務を委託しております。ご存知のように、自由ヶ丘地区コミュニティ・センターは、新築工事中で、もうすぐ完成いたします。完成後は、事務室の移転作業等が行われますので、それに伴い3月24日月曜日から4月2日までもちろん全館業務ができなくなりますので、図書館業務についても同様です。また、市民及び利用者の方への周知につきましては、市民図書館のホームページ、ポスター、自由ヶ丘地区のコミュニティ紙と利用者の方にはレシート等に記載をして知らせるようしております。それと、本日お配りしました、パネルシアター公演会ということでチラシを作成しておりますけれども、今年の4月から河東地区コミュニティ・センター内に須恵分館ということで、図書館を併設させて営業をさせていただきますけれども、河東地区コミュニティ・センターと共催事業で、パネルシアター公演会を3月21日の金曜日の祝日に開催します。講師は、大分のパネルシアター劇団のDANパネ団です。対象年齢は、小さなお子様からお話し会とかを開催される年配の方まで、幅広く事業を展開します。

・いせきんぐ宗像植樹祭について

【郷土文化交流課長】 いせきんぐ宗像植樹祭ということで、宗像市の木育ではないですが、また木を育てるイベントを開催したいと考えております。2月22日土曜日になりますけれども、場所

はご存知のとおり、田熊石畑遺跡の芝生広場部分に植樹をします。日本さくらの会から桜の若木90本の寄贈を受けまして、全体で180名の参加者を予定しています。事前に募集し、地元の東郷コミュニティ、宗像高校、東郷小学校、一般の親子参加というかたちで、たくさんの方が参加される予定です。今回は、昨年6月にプレオープンの際に、芝の一部を参加型で植えましたけれども、今回も市民参加による史跡づくりの1つと位置付けをいたしまして、10時に開始し、午前中には終了する予定です。なお、参加者は、植えた木にそれぞれネームプレートを付けていくということと、併せまして、現在、管理棟と体験学習の寄合所という名称と呼んでおりますけれども、園内に施設が一部完成しておりますので、その見学も含めて、公開を予定していきたいと考えております。

・第5回市民活動交流まつり、第29回むなかた市民学習ネットワーク学習発表会について

【教育政策課長】 本日、お手元にメイトム春まつり第5回市民活動交流まつりのパンフレットと、第29回むなかた市民学習ネットワーク学習発表会のパンフレットをお配りしております。第5回市民活動交流まつりメイトム春まつりは、3月1日、2日と、会場につきましてはメイトム宗像になります。もう1点が、市民学習ネットワークの学習発表会でございますけれども、3月8日、9日に、宗像ユリックスと勤労者体育館で開催されますので、ご案内いたします。

・「神の島 沖ノ島」講演会についてほか

【世界遺産登録推進室長】 世界遺産登録推進室でございます。本日、1件のご案内と2件のご報告をさせていただきます。ご案内でございますが、お手元に配布させていただいております。「神の島 沖ノ島」の講演会でございます。昨年5月、「神の島沖ノ島」という本が小学館から発行されております。これは、門司の出身の写真家、藤原新也さんと八女市ご出身の安部龍太郎さん共著の本です。沖ノ島が、本当に神が宿る島だということが実感できる本でございます。この2人によります講演会を3月8日土曜日午後2時からイムズホールで、約90分のトークセッションということで、計画しております。教育委員の皆様も、お時間があればぜひご観覧いただきたいと思っております。ご報告でございますが、遠賀信用金庫の「宗像・沖ノ島と関連遺産群」応援定期に伴います寄付がございました。この応援定期に関しましては、北九州市から粕屋郡にお住まいの方々から、約41億円の預金が集まりまして、その0.05%に相当する20万6,043円の寄付金を遠賀信用金庫から、昨日、市にいただいております。これは、宗像市、福岡県、福津市で活動しております世界遺産推進会議の活動資金として活用をさせていただきたいと思っております。また、現在、サンリブやダイレックスで、「宗像に世界遺産を」ということで、キリンビールの応援で缶ビールが発売されております。この広告をキリンビールのご協力で、2月16日の朝日新聞に「宗像・沖ノ島と関連遺産群」のPRをしていただきました。ビールを飲まれる方は、サンリブ、ダイレックスで、まだ売っています。サンリブでは、「宗像から世界遺産を」というのぼりを立てていただいたり、遺産群を紹介したDVD等を流していただいたりしています。協力していただいておりますので、ぜひ、1本1円のご寄付をいただくということになっておりますのでよろしく願いいたします。

・スピーチコンテスト最終審査会について

【正路指導主事】 スピーチコンテスト最終審査会に関してご報告申し上げます。いよいよ今週の土曜日になりました。どうぞよろしくお願いいたします。今年度の特別出演に関して確定しました。河東小学校が、小学生の部の最後にイングリッシュパフォーマンスということで、外国語活動の紹介を寸劇で行います。それから、中学生の部の後には、城山中学校の生徒が、昨年度賞を取った生徒ですが、今度は次世代リーダーの報告をします。その後、日の里中学校の生徒は、宗像の良さを伝えたいというような内容です。沖ノ島も出てくるということで、スライドを入れることも考えております。また、表彰につきましては、新たにALT賞を小中学校の部それぞれ1組ずつ入れます。審査については、英語教育講座の福岡教育委大学の先生方に、どちらの部も審査をしていただきまして、小中学校をつなぐコミュニケーション力をポイントに、準備した内容を確実に伝える、技術的な部分、聞き手のことを考えて伝えることができる力という観点で、審査をしていただくことにしております。

【井上委員長】 はい、ありがとうございます。以上、他にございませんか。それでは、本日はこれで終了します。次回は、3月24日月曜日、午後2時から202会議室で開催しますのでお間違えのないように。どうも長時間お疲れ様でした。ありがとうございました。

平成26年 3 月 24日

井上裕之

中園政剛